

塔のへつり

塔のへつり（川沿いの崖の塔）は、大川を見下ろす長さ 200 メートルの岩層と峡谷です。風、雨、潮流によって約 2800 万年以上にわたって塔に似た独特の形に彫られたさまざまな種類の岩が特徴です。その類似性は、地質学的現象と各岩塔（イーグルタワーとエレファントタワー等）の名前に影響を与えました。

吊り橋を渡ると、中に祠のある小さな洞窟があります。崖の上を歩くこともできますが、階段は狭くて急なので注意が必要です。塔のへつりは、秋の紅葉の美しさで知られています。緑の季節には新緑や藤の花、冬には雪が積もって美しい景色を見せてくれます。吊り橋の中央部からは、断崖絶壁や川の流れなどのパノラマの景色を一望することができます。

塔のへつりは人気の観光スポットで、橋のそばにはレストランや土産物店がたくさんあります。

塔のへつりは大川羽鳥県立自然公園の一部で、1943 年に公式の天然記念物に指定されました。